

見頃は7月下旬か

6月16、22、24日に、鹿公園いこいの広場の花壇と追分公民館横で、赤いひまわりの植栽が行われました。

植栽には、追分小学校・中学校・高校の児童生徒が参加。鹿公園で500本、追分公民館で2000本の苗が植えられたほか、JR早来駅前や追分町IC付近などの町内各所にも植えられ、見頃を迎える7月下旬ごろには、鮮やかな赤色の景色が楽しめそうです。



役場の仕事を体験

6月17日と18日、追分高校の2年生が町内事業所などで職場体験を実施。役場では2名を受け入れ、業務内容の紹介のあと、施設見学を行い、保育士の業務などを体験してもらいました。

2日目には、広報マンとなり、レストランみやもとで職場体験中の生徒たちを取材。取材を終え「取材を通して人と接することの難しさを体感できた。聞き漏らしや撮影するタイミングを逃さないように」と思い緊張した」と話していました。



的確な行動で人命救助

今年3月、追分中学校剣道部の練習中、外部講師が倒れ呼吸停止状態に。同部顧問の高橋一敏教諭が中心となり、部員7名とともに救命措置を施し一命を取り留めたことに對し、6月16日、胆振東部消防組合消防本部より高橋教諭へ感謝状が贈呈されました。

高橋教諭は「過去に受講した心肺蘇生法が役立つて良かった。7名の部員の協力も非常に心強いものだった」とその時を振り返りました。



2日間役場職員として実務に触れた2名の感想を紹介します。

落合 慈さん

1日目は、町内の施設見学などをしました。追分庁舎で見た議場が印象深く、議会の様子はインターネットで見ることができると知り、選挙や議会に関心を持つ機会となりました。

2日目は、はやきた子ども園で職場体験です。「大丈夫かな」という不安がありましたが、園の先生たちの支えで楽しむことができました。最初は、接し方が分からず大変でしたが、子どもたちの方から遊びに誘ってくれるなど嬉しい体験もでき、元氣いっぱいの子どもたちから力をもらうことができました。

2日間で学んだたくさんの経験を将来に活かしたいと思えます。

長田裕貴さん

1日目は、役場の業務内容について説明を受けました。様々な課があるのを知っていましたが、さらにグループに

分かれており、多くの仕事があることを学びました。

2日目は、はやきた子ども園でリレーや鬼ごっこなどをして子どもたちと触れ合いました。体験をしている中、保育士の方にお話を聞くことができ、「一人で複数人の子どもの世話をすることもある」と聞いて仕事の大変さを知ることができました。

今回の2日間の体験は、将来を考えるきっかけとなったので、とても良かったです。

